

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年9月23日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	南雲(未)、森下、小野塚(智)、小野塚(玲) 高井、渡邊、坂口

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	10人	0人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> お客様と一緒に過ごす時間を作っていくよう、勤務形態を見直し日中の職員数を増やしていくよう検討する。 センター方式シートの記入を継続していくとともに、負担が少くなるよう使用するセンター方式シートの見直しを行う。また、新たなアセスメントを活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 夜勤時間を見直したことで、日中帯の職員数が増えお客様とかかわる時間を増やすことができた。 センター方式シートの使用は継続しているが、使用するセンター方式シートの見直しを行えなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9	4	0	0	13人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	5	0	0	13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	7	6	0	0	13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	6	1	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 勤務形態を見直しすることで日中いる職員が増え、お客様との関わりや余暇時間の関わりが増えた。 お客様の情報やニーズについては利用開始前にケアマネ等を通じて共有している。本人・家族の意向もミーティングで情報の収集や発信し共有している。 利用開始直後は声かけを多くしたり交流の仲介、相席などで会話する機会も増え関係性づくりができている。 事前面接に介護職員も同行し、利用前の関係性作りを行っている。 丁寧なアセスメントを行い必要なサービス調整を行っている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> カルテには目を通してはいるが日々の連絡帳のご家族様からのコメントを読んでいないため、家族の意向をよく知らないことがある。 家族との関係性がなかったり家族と会う機会が少ない。 新規の方がどういう性格なのか等あまり把握できていない、家族の不安があまりわからない。 新規の方への声かけや気遣いが苦手。 利用初期の職員個々で得た情報の共有がされにくい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> センター方式シートをさらに活用するために書き方勉強会を行う。 利用前にケアマネ等から得る情報や、初回のモニタリング(概ね1か月)までに集中的にお客様との関りを持ち、そこで得た情報をセンター方式シートにまとめ、お客様やその家族が安心してサービスを利用するための必要な支援や個々の対応を明確にしていく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年9月24日
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	南雲(未)、小野塚(智)、高橋(正)、角谷 南雲(小)、長井、坂口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	1人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りに関してはその日の日直に任せきりにせず、各自申し送りをきちんと記入する。各自業務日誌を読むこととする。 モニタリング用紙を新しくしたことでモニタリングしやすくなり記入もしやすくなった。モニタリング時だけではなく、アクシデントや本人の状態変化があった時も活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 各自が責任をもって業務日誌に申し送りを記入し、全員に周知できるようになってきている。 モニタリング表を変えたことで適時、適切にモニタリングをすることができている。また、ミーティング等でお客様の声を拾って、希望の企画を立てることができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	7	2	0	13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	5	3	0	13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	4	4	0	13人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?	5	6	2	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング用紙を新しくしたことで記入しやすくなり、職員の関わりが増えたことで状態変化時の変更等について活発な意見がでている。 ケアプランを実行表に記入する際や空いている時間に読んでお客様の目標やサービス内容がわかるように努めている。 お客様の声を受け止め生きがいや楽しみを職員と情報共有し合って支援している。 お客様の「～したい」を叶えるために、担当職員が積極的に関係を持ち実現するために、他職員と協同している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 本人の目標の方もいれば家族の意向の方もいるため必ずしも本人のためなのかが不明なこともある。 申し送りはしているが、申し送りを読んでいない職員がいるため変更点を理解していないことがある。また、ケアプランをよく見ず実行表が右ならえでついていることもある。 家事手伝いをしたいお客様が多くいるが、積極的にされるお客様に偏りがちに頼んでしまう。「～したい」ご本人の希望の実現をもっと意識してきちんと支援したい。 一人一人にまだ目をむけられていない、全ての「～したい」は把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング等で雑談的に行なうことがある情報共有を、ミーティングの議題として全員が検討し記録に残していく。 お客様の「～したい」の把握をするために、お客様担当の役割を明確にしてお客様との関りを増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年9月24日
------------------	-----	------------

3. 日常生活の支援	メンバー	南雲(未)、小野塚(智)、高橋(正)、角谷 南雲(小)、長井、坂口
------------	------	--------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	5人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するセンター方式シートの見直しを新たに変更していく。得た情報は随時追記していく。 ・センター方式シートの書き方が分からぬという声もあったため、書き方が分かる職員と一緒に進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式シートの見直しは出来なかった。また、随時追記についてもすべてのお客様のセンター方式シートへの追記はしていない。 ・センター方式シートを記入するタイミングが合わず、書き方が分からぬ職員のフォローができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	9	0	13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	7	6	0	0	13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	8	2	0	13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8	5	0	0	13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	7	1	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状態変化時は職員からの発信があり、その都度変更やモニタリング時にプランに追加ができる。 ・申し送りやミーティングで他職員と情報共有ができる。本人の状態観察や早期発見もできる。 ・お客様のその時々の状況に合わせて相談しながら対応ができる。 ・お客様の状態に合わせて、情報共有しながら基礎的な介護ができる。(食形態、入浴、排せつ支援など)

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式シートの見直しができていないため、未記入だったり変更点の追記ができない。そのため、お客様のことでわからないことが多い。 ・人数が多いため全員分理解と把握ができない。 ・お客様担当がしなければならない業務が不明確で、情報収集や共有という部分で活用できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式シートの見直しを行い、ご家族に依頼するシートと職員が記入していくシートを明確にする。 ・日々の会話の中や職員同士の気づきをポストイット等を活用し情報を残し、お客様の担当職員がその情報をまとめていく。記録の残し方について仕組みを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年10月1日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	南雲(未)、小野塚(智)、角谷、上村、渡邊(み)坂口、高橋(智)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	4人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 町の地域資源がどんなものがあるのかケアパス等(予防事業)を使用し理解を深める。 地域資源マップを作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> お客様が通っている(た)サロン、予防事業等については把握するように努めたが、ケアパスの活用や、地域資源マップ作成を行うことは出来なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3	7	3	0	13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	6	6	1	0	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	6	0	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	6	6	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 本人が得意だったことや好きだったことを基に畑と一緒にしたり料理と一緒にしたりしている。アクション農園や買い物等施設外へ出向く機会が多い。 通いや訪問などでお客様同士や職員と交流ができている。通い時は大切な人とゆっくり過ごせる場所を提供している。 本人・家族・地域との交流を毎月のおたよりで発信している。また、施設行事への参加を呼び掛けている。 地域の方やご家族様も気軽に来てくださる。 今までの関係性が保てるように、お客様の支援者との関係を施設としても持つようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 予防事業はいくつか知っているが、実際に使用し理解を深めていない。地域資源を知っていてもマップとして作成しているか不明。 在宅時は家族任せになっているので、どのように過ごしているか知らない。 職員の聞き取りや職員のケアマネからの情報収集が上手くできていない。 お客様個々の地域にどのような地域資源があるかの把握ができない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> お客様との外出を増やし、その方の顔見知りの方を知る機会を増やすことで、施設サービス利用以外での交流関係を把握していく。 家族の同意が得られた方には、お客様の自宅周辺の方に挨拶を行い、交互に情報共有しお客様が地域でより暮らしやすく過ごすための関係作りを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年10月5日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	南雲(未)、森下、高橋(正)、小野塚(玲)、上村 高井、渡邊、高橋(智)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	9人	0人	0人	13人

前回の改善計画	・申し送りに書きもれてしまった情報の落とし込み先が曖昧で、職員によって周知しきれていないため書式の変更し情報共有を進める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・業務日誌のお客様利用予定の書式を変更し、当日の様子や体調変化などの情報の落とし込み先を明確にしたことで、職員全員が情報を共有できるようになってきている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	6	6	1	0	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9	4	0	0	13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	8	5	0	0	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	7	6	0	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・日々の関わりや記録、申し送りによりお客様の変化に気づきミーティング等で話し合い、改善や対応をチームで共有している。 ・書式を変更したりNDを使用することで情報共有ができる。 ・訪問支援の際、本人の状態や状況に合わせて訪問から通いに変更する等相談をして対応している。家族の要望や急な利用変更にも柔軟に対応している。 ・予防事業を利用している方は以前からの関わりを継続している。 ・必要時には必要なサービスに変更し柔軟な対応ができる。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・申し送りの記入がまだ日直任せになってしまっており、記入漏れがある。 ・日誌の個別の記録をする欄に必要な情報が落とし込めていない。また、ND化したため情報をタイムリーに確認することが難しいことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・お客様へのサービス提供から気づいた、新たなケアの提案や当日の状態等の情報を共有するために、業務日誌の書式変更を行いケアカンファレンスの有効性を高めていく。 ・お客様の申し送り事項について、使用している介護ソフトの機能を活用し必ず全職員が確認する仕組みを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年10月5日
6. 連携・協働	メンバー	南雲(未)、森下、小野塚(玲)、高橋(正) 上村、高井、渡邊(み)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	4人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者会議やカンファレンスに担当職員が可能な限り同席し、多職種の連携が深まる体制を整える。 町で行う行事には積極的に参加し、交流を保てる活動を年間通して続ける。(認知症カフェ・瑞祥庵・納涼祭等)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者会議やカンファレンスには、必要と思われるお客様の時には参加できるよう勤務調整など行った。町内で行われる行事や研修会等にも積極的に参加しサービス提供地域での活動を知る機会や施設のことを知っていただく機会を多く設けることができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	5	3	2	3	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	6	0	3	4	13人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	6	2	4	1	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	4	2	1	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 毎月の認知症カフェや瑞祥庵に出向く活動ができる。納涼祭や防災訓練などで地域の方々との交流ができる。 アクション農園へ毎週お客様と一緒に出掛けている。また、地域の催し物がある時は企画書をたて、地域交流ができるように参加している。 上長を含め、各役職者、当日都合がつく職員が参加している。 地域ケア会議や町が実施する勉強会等に積極的に参加している。 防災訓練に地域住民が子供を連れて見学にきて、消火訓練に参加している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 勤務都合により認知症カフェや瑞祥庵にあまり参加できていない。 新規利用前には事前面談時に介護職員の同行はできているが、他は家族の都合やケアマネの定期訪問都合により同行できていないことが多い。 地域ケア会議などへの参加が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者会議やカンファレンスには可能な限りお客様担当が参加することで、現場の職員だから伝えられる情報を確実に関係者に落とし込み、お客様がよりよく生活を送るために多職種間の関係作りを行っていく。 奇数月に施設で開催する地域密着型サービス運営推進会議に職員が輪番参加することで、地域の現状やサービスについて求められていることを理解する機会を増やしていく。町が行う訓練等に積極的に参加していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年10月6日
7. 運営	メンバー	南雲(未)、高橋(正)、小野塚(玲)、角谷 上村、高井、渡邊

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	7人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に共通資料を作成する予定となっている。来年度の勉強会の年間スケジュールに日程を入れる。 ・認知症カフェ時に来設頂いた地域の方、簡単なアンケートをとりニーズの把握をしていく。(年2回程度)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症カフェの実施目的」及び「地域密着型サービスの特性」についての勉強会資料は準備が出来ているため、下期に勉強会を実施する。 ・認知症カフェに来る外部の方にアンケートを実施し、その結果を次年度のカフェ活動内容や目的に組み込み実施していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	8	2	0	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6	6	1	0	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6	6	1	0	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	7	5	1	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模連絡会にて「認知症カフェ」や「地域密着型サービス」についての共通資料が完成しているので、勉強会の予定がある。 ・今年度からカフェ時、ミニ講座を開催している。 ・認知症サポーター養成講座の依頼を年にいくつか受けている。 ・ミーティング内で家族からの意見や他の職員と話し合い、常によりよいサービスを提供できている。 ・お客様のご家族からの意見や苦情はチーム全体で話し合い、改善に向け取り組んでいる。 ・顧客満足度アンケートを行い、年に1度家族からのご意見をいただき、サービスに反映させている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様やご家族からの何気ない一言などにきちんと向き合えているかは疑問。いつも同じことを言われたり、いつも言わないことを言ってくださったときなど情報共有が足りていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳でのやり取りの中でお客様ご本人やその家族からの「声」をすくい上げ、顧客フィードバックなどの仕組みに落とし込み、ニーズや意見を反映した活動を行う。 ・認知症カフェには多くの地域の方がきてくださっているが、地域の方やお客様の家族とゆっくり話す機会が現状の開催時間では持てないため、開催時間等についてアンケートで聴き取りを行い、実施曜日時間について検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年10月8日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	南雲(未)、小野塚(智)、高橋(正)、角谷 上村、高井、坂口

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	6人	2人	0人	13人

前回の改善計画
・日々のミーティングとタクシード前日のひやりはつとの内容の周知・予防策の検討していく。 ・リスク委員が定期的に集計を行った時に分類をし、同種・同傾向のひやりはつが3件あがっているものに関しては申し送り、次の日のミーティングで予防策を検討していく。 ・地域連絡会にも介護職員が参加できるよう勤務調整していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ヒヤリハット確認時には副主任を中心に、同種・同傾向で3枚以上のヒヤリハットが上がった場合は速やかにアクシデントに切り替え、対応策を検討し実行している。 ・町や社協等が行う研修には内容に応じて職員を派遣している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9	2	1	1	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	1	1	2	13人
③	地域連絡会に参加していますか	4	1	3	5	13人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	7	5	1	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
•年度初めに参加者の予定を組み、年間スケジュール通り研修に参加できている。 •研修や施設内の勉強会に参加し、知識を得て日々の仕事やお客様のケアに繋げている。参加職員の感想・報告書を読み、情報共有に取り組んでいる。 •インシデント・アクシデント報告書の提出・事故分析・事故傾向の把握をし、今後の対策について職員が納得するまで話し合い、事故予防に向けて取り組みがなされている。 •法人の研修や外部研修への参加の他、勉強会計画を立てそれを実施している。資格取得支援も行えている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
•リスク委員や副主任からの発信がなく、同様のひやりはつが3件以上あがっているがすぐに話し合いにならず、解決が遅れてしまっている。 •地域ケア会議やサービス事業所連絡会等、個人として参加していません。 •数回同じような内容で上がったインシデントをアクシデントに切り替え対策を立てるが、同様のインシデントの発生が減らない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
•それぞれがヒヤリハットを確認する中で、同種・同傾向のものに気づいたときにはミーティングの議題としてあげ、事故予防のため対応策を検討する。 •専門職や管理者だけでなく、地域ケア会議や勉強会等には広く職員が参加し知識向上等に役立てる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2019年10月8日
9. 人権・プライバシー	メンバー	南雲(未)、森下、小野塚(智)、高橋(正) 角谷、上村、高井、坂口

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	8人	0人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の職員数を増やしフロア対応の職員が一人にならないようにし、職員が交代しながら対応していく。 ・成年後見制度の勉強会を予定していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様が多くいらっしゃる時間帯に職員が一人等いことがなくなり、プライバシーへの配慮や身体拘束に当たらないような関わりを持っている。 ・成年後見制度についての勉強会は、施設で行うよう準備を進めていく(実践者研修用資料を講師からいただき行う)

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13人
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13人
③	プライバシーが守られている	7	6	0	0	13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	2	2	0	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	3	0	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様が好きな時にフロア内を移動すること、フロア外に行く時は職員が付き添いを行っている。 ・面会に来たお客様にはその方の応じてお部屋などで対応している。 ・トイレや入浴の際はカーテン・扉をしっかり閉めている。また、プライバシーに配慮した声かけをしている。 ・カルテは事務所に保管しており、個人情報の管理ができている。不要となった個人情報はシュレッダーにかけている。 ・勉強会を通じて虐待の種類や不適切ケアにあらかる周知し気をつけている。現場で不適切ケアのひやりはつとをあげている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度が必要を思われる方がいるが、家族が相談をしたが、まだ時期ではないと言われた経緯があり繋げられていない。 ・トイレや浴室へ入る時、プライベートな空間だという認識が薄く気遣いができない。 ・耳の悪い方や認知症で意思疎通が難しい方への声掛けにおいて配慮が足りないことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の尊厳や財産を守るために、日々の会話や家の状況を職員間で共有し速やかに成年後見制度に繋げられるようケアマネージャー等と連携していく。 ・不適切ケアはお客様に対してだけでなく、職員に対しても不適切な対応が無いよう勉強会等でローレンスを行なながら、お客様も職員も快適に過ごせる施設作りを行う。